村立保育所、幼稚園等に関する再編整備の方向性

幼稚園	保育所	認定こども園	再編整備内容	再編整備場所
村松幼稚園 (S63年度建築/28年経過) (児童数159名)			存続	
石神幼稚園 (S47年度建築/44年経過) (児童数39名)			存続 → 幼稚園機能を維持	●石神小学校に移転 (空き教室の活用)
舟石川幼稚園 (S48年度建築/43年経過) (児童数74名)	舟石川保育所 (S50年度建築/41年経過) (児童数66名)		統合 → 幼保連携型認定こども園へ移行 ※保育所分の定員を拡大	●舟石川・船場地区 内に 新設(用地を取得)
須和間幼稚園 (S50年度建築/41年経過) (児童数63名)			保留 → 5年後を目途に改めて検討 ※中丸小学校区内の子育て家庭世帯数や共働き世帯の割合等、将来動向を見極める	
	百塚保育所 (H9年度建築/20年経過) (児童数127名)		存続	
		とうかい村松宿こども園 (H26年度建築/3年経過) (児童数/保育認定97名・教育認定28名)	存続	

※各幼稚園の園児数はH29.5.1現在、保育所・こども園の児童数はH29.3.1現在

＜再編整備に関する基本方針＞

- (1) 本村の将来にわたる就学前子どもの数の動向及び高まる保育ニーズの両面を勘案し、適正な施設数及び保育の量を確保するものとする。
- (2) 新たな幼稚園教育要領、保育所保育指針及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づいた幼児教育及び保育サービスの質を高める取組みを行うものとする。
- (3) 原則として建築後40年が経過した施設を再編整備の対象とする。
- (4) 再編により新たに整備する施設は、基本的に教育認定及び保育認定の各利用定員を設ける幼保連携型又は幼稚園型の認定こども園とする。
- (5) 民間事業者との均衡を図りながらその動向に配慮し、官民一体で待機児童の解消を図るとともに、将来において必要な保育の量を確保する。